

富士山に登頂

2016.9.9 (金) ~10 (土) 単独

富士山には日本百名山挑戦中の 1995.8/28~29 に吉田口から登りました。夜勤明けで息子を野辺山高原の合宿先に送り届けてからの寝不足と7合目の山小屋も小屋前を夜中中歩く登山者の話声で寝られず高山病になってしまい体調の良くない山行でした。又晴れでしたが山頂から下界は見えませんでした。昨年古希記念に日本を代表する富士山と槍ヶ岳の登頂を計画しましたが、富士山は天候等で実現できませんでした。今年こそと思いましたが暑さでお盆過ぎに計画していましたが、相次ぐ台風の襲来と大気の状態が不安定の日が続き半ば諦めていました。台風一過の9/9~10がラストチャンス(山小屋が9/10泊までの営業)で登って来ました。かつて外国の地理の本には日本は富士山(ふじやま)と芸者の国として紹介されていたとの事ですが、登山者の半数は外国人でした。

9/9 (快晴) 自宅 4:10~(安曇野ICから甲府南ICまで高速) 8:00 富士宮口5合目登山口 P (218KM、標高2380M) 8:30~9:30 新7合目 (2790M) 9:40~10:20 元祖7合目 (3030M) 10:30~11:05 8合目 (3220M, 昼) 11:30~12:07 9合目万年雪山荘 (3460M、2食付7500円、泊)

9/10 (快晴) 3:45~5:18 富士山 (5:20のご来光を見る) ~剣ヶ峰 (3776M) ~お鉢めぐり (1周約3KM) 7:10~8:00 9合目 (小屋で朝食) 8:30~9:15 元祖7合目 ~9:40 新7合目 9:50~10:45 5合目P 10:50~11:30 天母の湯(あんものゆ)で入浴 12:30~(甲府南IC・安曇野IC経由) 16:00 帰宅。

自宅を出て少し走ったら霧雨、高速に乗ったら小雨が降り出す。こんな筈では無いのに！そのうちに止んで富士見ではその名の通り「富士山」がハッキリ見える。あの山頂に立つのかと想像すると胸が高まる。

富士宮口



火山灰と火山岩の登山道



8:30 いよいよ登山開始、もっとズルズル滑って歩きにくい登山道かと想像していたが、それほどでは無いので安心した。快晴で気温もTシャツで丁度良く、汗もそれほどかかなく快適。山小屋のトイレは何処も有料で200円。200円投入するとドアが開く自動式とトイレ入り口に山小屋

の従業員が立っていて徴収する方式で他の所のように入り口にチップ箱が置いてある形式

とは違う。結局往復で400円トイレ代がかかった。スポーツドリンクは500CCが500円。缶ビールは800円だった。

富士宮ルートは登山口の標高が2380Mと一番高く登り5:30、下り3:50と短く日帰りの利用者も多いようだ。さすがに3000Mを超す元祖7合目からは空気が薄くて休み休みと「深呼吸」の登りとなったが予定よりかなり早く小屋に一番乗りとなった。

所々にこのようなSOS用の番号が付けられた看板が設置されていました

宿泊した食堂には外国人が多い



チョット高山病ぽくなっていたので軽く酒を飲んで早夕食を食べるが食堂は通りすがりの登山者で大賑わい。

15:30頃までは90%が外国人だった。若者の集団の半数は「タトー」をしていた。欧米系が多かったがマレーシア・ミャンマー・中国などアジア系も多かった。外国人は金剛杖を買って日本や自国の国旗を杖に飾っていた。小屋の食事のご粗末で呆れた。山小屋で美味しい物食べたいなどと今風には思わないが、夕食はカレーだがカレーには野菜も肉も全く入っていないカレー粉のみで、福神漬けが少し。朝飯はコンブの佃煮と極少の梅干し1個と小さな焼売が2個とつくねのような物が一つのみ。早朝から山頂往復して8時過ぎだったから空腹で食べられたが。外国人はどう感じるか？日本人として考えされたが。

ご来光です



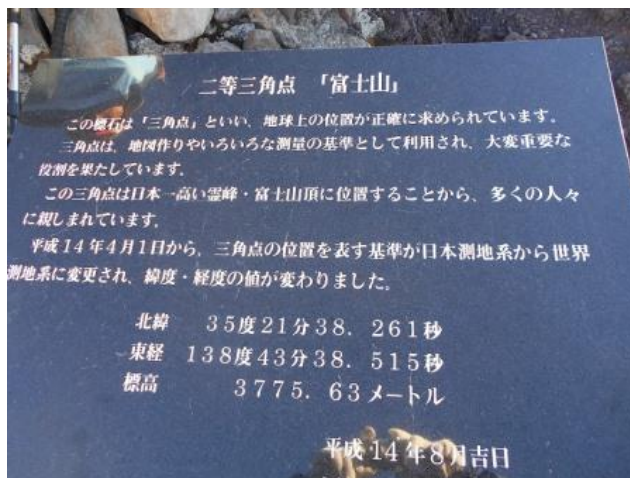
富士山の山小屋は営業期間が7~9月10日頃までと短くて経営的には大変な事は分るが、宿泊料を上げて良いのももう少しおかずを増やして欲しいと思った。どうも山頂まで道路があったので、食料等は運んでいるようだが。足を延ばして寝られない狭い部屋に4人で寝るので睡眠不足で早朝出発する。ヘッドランプが山頂まで帯のように続いている。標高差360Mほど、コースタイム1時間の登りだがとにかく酸素不足で国会の牛歩戦術

以下の状態で休み休みで時々大きく深呼吸をしながら登る。こんな調子では 5 : 20 頃のご来光に間に合わないのではと心配しながら。山頂手前では明るくなってきてヘッドランプもしまし羽目になるが何とか日の出を拝めることが出来た。(富士宮口山頂 3710Mで) 剣ヶ峰に向かう。途中の水溜りには氷が張っていたし、道端には霜柱が沢山ある。

富士宮口山頂

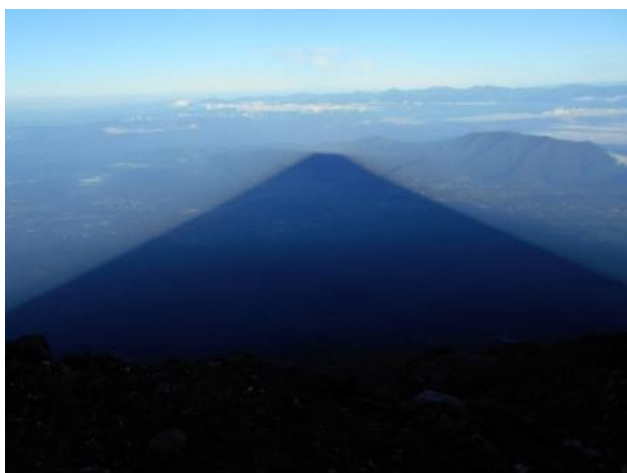


富士山山頂



山小屋の営業期間が9月上旬までなのが良く分る。剣ヶ峰の山頂は記念撮影の順番待ちで長い列が出来ている。お鉢めぐりをするが噴火の凄さが良く分る火口、下界の景色の展望が良い。影富士も見える。

影富士です



噴火の凄さが



泊まった小屋、下山時に



10日も大賑わい



青木ヶ原樹海も良く見下ろせる。8時に小屋に着いて朝食食べて下山するが登って来る人が多い。上部ですれ違った人は日帰り組で下部ですれ違った人は宿泊組だろうか。いずれにしても外国人や普段登山をしない感じの人が多いし、若者やカップルが多い。登山道の幅があるので擦れ違いにはそれほど不便を感じなかったが、注意して下った筈だが3回

スリップダウンする。Uさんから時間があったら宝永山に寄るように薦められていたが、カメラのSDカードの残数が終了してしまった（不要な画像を消去すれば良いのだがうまくいかなかった）のと睡眠不足でカットする。帰路富士山天母の湯で入浴する。富士山周辺の温泉は入湯料が高いのが欠点だが此処は安くて露天風呂も開放的で良かった。

富士山に登れて感激でした。それにしても8000Mを超すエベレスト等に酸素ボンベ無で登る人達の肺はどうなっているのか？不思議だ。なお帰宅してパソコンのメールを見たら何と東京の知人（北海道で知り合った人）が9/9に富士宮口から日帰り登山したとの事。しかも往復7:20ほどで、健脚でお元気な方だ。どうも元祖7合目手前付近ですれ違ったようだが気が付かなかった、残念。